

学校法人 みちひろ学園 れんげ幼稚園

# 東日本大地震支援東北地方職員研修の旅

参加者の感想

学校法人 みちひろ学園 れんげ幼稚園

## 東日本大地震支援東北地方職員研修の旅

平成23年8月28日(日)

集合 6:55 7:04 発 7:40 着 7:56 発 10:29 着 11:00 ~ 12:30

大石宅 ———— 小田原 ———— 東京着 ———— ノ関 ———— 中尊寺 ————  
(こだま700号) (はやて213号) マツダレンタカー(2台)  
12:40 14:00 14:15 ~ 15:45 16:25 頃  
昼食 ———— 平泉前沢 IC ———— 花巻 IC ———— 宮沢賢治記念館・童話村 ———— 花巻空港 IC ————  
17:05 (宿泊)  
——— 森の風

レンタカー : TEL0191-26-0828

宿泊 : 住所 〒020-0574

岩手県岩手郡雫石町鶯宿 10-64-1

TEL 019-695-3333

FAX 019-695-3330

平成23年8月29日(月)

8:30 9:00 ~ 12:00 13:49 発

ホテル森の風 ———— 小岩井農場 ———— 盛岡・散策 ————  
レンタカー(2台) (はやて166号)

16:36 着 16:56 発 17:37 着

——— 東京 ———— 小田原

(こだま673号)

大人 17人 子ども 1人 合計 18名

### 「研修の目的とその成果」

研修の目的はあくまで被災者・地区の支援のため、現地にてお金を落とすことも大切なことと認識し、大事な視点においた。参加経費は園で負担するので、現地で関係する方達に触れて何か感じてもらえればと思慮している。

### 見えない奥深い背景に

今回、東北研修に行くことに対し、正直私はとても不安でした。再び地震が起こるのではないか、放射能に汚染されていないか、建物は大丈夫か…、色々思うところがありました。しかし、行ってみると街の姿や人に驚かされました。なぜかという、あのような災害があったにも関わらず、街全体が再び街を元の通りに戻そうと協力し、道路が整備されていたり、地元の食べ物をアピールしていたからです。私はニュースで流れるマイナスの事ばかり気にして、地元の人のことを深く考えていなかったのだと気づきました。募金についても、お金を出していましたが果たしてそれが心の底から

のものだったのか…反省しました。

幹事をやらせて頂き、より東北のことを考えられるようになり、実際に行き、改めて人の協力する大切さ、自分のことだけでなく見えない奥深い背景に目を向けることの必要性を感じました。

1日目の中尊寺は80万人もの人が来ていて、日本全体が復興支援しようと手助けをしているのだと感じると共に、世界遺産に登録されるほど、人々が護り続け、また迫力を感じました。宮沢賢治も岩手全体が彼を誇りに思い街や県を盛り上げようとしていました。小岩井農場も小岩井でしか出来ないものを取り上げ盛り上げようとしていました。

今回の研修では本当に様々なことを考えさせられました。残念なのは、被災した方に話を聞けなかったことです。恵先生や亜季先生はお話を聞いたようなので聞きたいと思います。

研修に行かせて頂き有り難うございました。

K・H記

## 東北研修

震災後の東北に行くのは初めてで、どんな光景が見られるのか、緊張と、楽しみとの両方の思いだった。

まず、中尊寺。奥州藤原氏の栄華、義経の悲劇など様々な歴史の事柄を見たら、ガイドさんの話を聞くことでより理解が深まった。まさに「諸行無常」。荒れたこの地を訪れた芭蕉。「武共が夢の跡」と残しているが、芭蕉は武たちに思いを馳せていたのだろうと思った。

2日目の小岩井農場では、ご当地の牛乳やアイスクリーム、生卵を食べたり、手作り工房では羊毛を使って記念に残るものを作ることが出来た。そして従業員さんから「3.11」の震災の話を伺うことが出来た。身内の方の会社が流されてしまったり、堤防を閉めに行った消防士さんに多くの犠牲が出てしまったこと、そして目の辺りにした光景に涙が止まらなかった事…。瞳を潤ませながら話をしてくれ、関東に住む私にも気持ちや想いが伝わってきて、胸が締め付けられる思いだった。小岩井農場も1ヶ月休園したそうだ。福島県の子も達が農場に来た時「半袖で遊べる！」と言い、思い切り遊んでいた様だ。この光景に涙が流れたそうだ。そして、自分たちが神奈川から来たことを伝えると「ありがとうございます」と深々と頭を下げていた。関東からの観光客は激減したらしい。「本当に有り難いです」と言われ、なんだか複雑な気持ちになった。たった数千円しか払ってないのに、ここまで感謝をされるとは。今まで「義援金募金」しかやって来ず、当初、「東北へ行くのは怖い！」と思っていた自分がとても恥ずかしく、情けなく思えてならなかった。

今回、東北旅行は様々な名所を巡ったが時間が充分でなかった。平泉も農場

ももう一度行きたい。私に出来ることはほんの少しだが東北にお金を落とし、東北の方の声を周りの人たちに届けたいと思う。様々なことが学べた研修だった。

参加させていただき、本当に有り難うございました。

M・N記

#### 人々の心の強さに

東日本大震災によって現地がどのような状態、様子になっているのか、ドキドキしながら今回の研修へ向かいました。しかし、想像していた以上に現地は賑わっており、人々の表情も明るくいいききとして見えました。様々なメディアで「頑張ろう、日本」という言葉を見たり聞いたりしていましたが、実際に被災地に来たことで、その言葉を胸に、未来を信じて生きる人々の心の強さに触れられた様な気がします。

私たちが出来ることは、地域の振興に協力することなど微力ですが、ひとり一人の力が集まって、被災地の方々を少しでも支えられたらと、研修を終えてより強く思うようになりました。

A・K記

#### 前向きな東北の方々

東日本大震災にともない計画された研修でしたが、新幹線の復旧、そして現地の皆様の笑顔あふれる姿に、日本人の強さを改めて感じました。何事もなかったように楽しく旅行できましたが、前向きな東北の方々の心の内を感じることが出来ました。私たちの使ったお金が有効に使われることを祈るばかりです。

中尊寺では、初めてでしたのでとても期待していましたが、人の多さと時間のなさでゆっくり観られなかったことが残念でした。しかし、金色堂の美しさと自然豊かな景色に囲まれたあの場所に立ち歴史の話を聞くことで、タイムスリップした様な感慨深い気持ちに成りました。娘のさやかも難しいことは判りませんが、昔本当にあった事、この歴史の上に、今の自分が有ることを感じる事が出来るようです。宮沢賢治については、勉強不足と、自分の知識のなさがっかりした反面、たくさんの作品に興味がわきました。

A・Y記

#### 自分の出来ることを

今回は、初めて研修へ行きました。職場での旅行はどんなものなのか、ドキドキワクワクしながら家を出ました。新幹線に乗り東北へ向かうとまだ屋根の修理が終わってないところが目につきました。それを観たら本当に安全なのか不安になりました。新幹線で到着するとレンタカーを借りて観光先に向かいました。中尊寺、宮沢賢治記念館では夢中でいろいろなものを写真撮影をし、とても楽しむことが出来、不安など吹き飛んでいました。ホテルへ着き、ご飯を

食べお風呂に入りゆったりとし、先生達と話をしているとなんだか修学旅行のような気分になっていました。

2日目に朝起きると本当に1日はあっという間だったなあと感じました。小岩井農場では彩さんと回り、羊の毛で人形を作ったり羊牧の様子を見たり、馬へ乗ったりと初めての体験がたくさんできました。そのときの自分は子どもになったようで何でも興味津々で、時間内に出来るだけ回れるところは回ろうと必死になっていました。旅行に行くと、新しいことに触れられ、知識も増え、自分のためにとっても良い経験になり、知ることによって新しい発想が出来るようになると思います。これからも皆さんで研修の旅行へ出かけられる事を楽しみにしています。

また、震災地域での旅行でしたが、私は何の力にもなれていないと思い反省しました。こうして旅行へいける私はとても幸せだと思います。だから目の事に一生懸命取り組み自分の出来ることを考えていきたいと思っています。 T・T記

### 岩手の人の底力を

3月11日に起きた東日本大震災。毎日流れるニュースの中でその被害の大きさを目の当たりにするのであった。今回はそんな被災地に少しでもお金を落として支援しようという目的でみんなで研修することになった。行くまでは放射線や余震の怖さで心配だったが、実際に岩手を訪れてその思いはすぐに消えた。観光地には人々が集まり、活気を取り戻していたり、岩手の人々（ガイドさんや売店、ホテルの関わった人たち）の暖かい歓迎の気持ちや、復興に向けて力強く生きていることを感じる事が出来た。`がんばれ岩手`というフレーズが街の至る所にあり、なんだかこれを見ただけで私自身も`頑張らなくちゃー`と思えた。中尊寺や小岩井農場など学んだことがあったが、何より今回は東北(岩手)の人の底力を見せてもらった。 M・H記

### 普通に暮らせて生きている有りがたさ

新幹線の中や車の中から屋根がブルーシートで覆われていたり、所々窓が補強されている家を見た。今回、研修に出かけた地域は、津波の被害にあった地域ではないが、震災の爪痕を知った。津波の被害にあった所はニュースで見ると今もほとんど修復が進んでいない。地震から6ヶ月以上たっているのに、人手が足りず修復・復興が進んでいないのだろう。被災地に行ってボランティアをすることはなかなか出来ないけれど、今回のように現場に行き、そこで楽しんだりお金を使うことで、力になれば良いと思う。どこか他人事のような気がするが、今、東北の人の為に、募金をしたり、支援物資を送ったりする事の大切さや、普通に暮らせて生きている有りがたさを感じた。「遠くから来てくださって有り難うございます」とホテルのひとに言われた。本当は放射

能のが恐かったけれど、行けて良かったと感じた。これからはより東北の事を心に留めて過ごしていこう。

M・I 記

### 様々な経験が

今回の東北研修では職員が一人も欠席することなく、大きなトラブルがなく旅することが出来て良かった。研修係の先生が事前の計画から当日の動きまで行ってくれたおかげで、みんなが楽しく過ごせたと思う。

1日目の中尊寺はガイド付きでわかりやすく勉強になった。学生時代、日本史で習ったことを思い出しながら観たが、忘れていたことも多く、改めて歴史の深さを感じる事が出来て良かった。特に昔有った建物や遺品が展示されている場所では、一つひとつ説明書を読みながら、すごいなと感じた。慌ただしく、もう少しじっくり見たかったと思う。心残りです。

わんこそばは職員みんなが、無言で食べる姿が印象的だった。なかなか出来る経験ではないので楽しかった。

宮沢賢治の記念館はいつかもう一度行きたい。もっと勉強してから。宿泊したホテルは、今までの旅で一番綺麗で快適だった。”ひとちゃん有り難う”。最近、温泉に入る機会も減ったので、夕・朝入って、リラックス出来た。

2日目の小岩井農場では、主に羊の毛を使った制作コーナーにいた。そこで、実際に被災した方と話した。当時の小岩井の様子や生活のことを聞き涙が出そうになった。「観光客の人がこうやって、ここでお金を落として行ってくれることが本当に有り難い」「自分も、もっと被災した所へ行ってお金を落とそうと思う」……と言う話をしている、理事長先生の目的としていた支援が出来ているのだと実感した。農場ではもっと散策をしたかった。

今回の東北研修では、様々な経験が出来た。また、被災した人たちも笑顔で頑張っていた。今までテレビでしか知らない世界から、視野を広げることが出来た。職場でこういった研修をさせてもらえることは本当に有り難いと思う。今後も様々な場面で研修が出来ると良いと思う。2日間どうも有り難うございました。

A・K 記

### 東北に目を向け、心に向け

中尊寺金色堂、戦国時代に無くなった人たちが安らかに眠れるようたてた平和のシンボルという印象があった。見た目も美しく当時そこへかけた人の思いや数、技術(8年がけで多数のお坊さんが銅板みたいなものを削り、そこへ金や銀箔を乗せ作られたお供には驚いた)。藤原氏のお棺の中にあつた蓮の種(800年前)のものを植、今日、蓮が生きているところを観て、歴史の重み、平和の願いを感じた。

宮沢賢治童話村。「注文の多い料理店」「セロひきのゴージャ」などユーモアあつたり、ファンタジックな世界だったり、とにかく話に引き込まれ、何度も読んだ覚えがあ

る。また、宮沢賢治の多才な所に驚いた。宮沢賢治の歴史を感じながら「永決の朝」「雨ニモ負ケズ」など読んでみるとより心にグッとくるものがあった。自分も改めて賢治作品を読み子ども達に聞かせたいと思った。

2日目は今回の目的を果たすためにとたくさん遊び、お土産を買うことをテーマにした。勿論、義援金にお金を入れてきたが、そういうことだけでなく、東北の魅力を知り、感じ東北が活気づくような行動力、人との交流が大切かと思い、小岩井農場を駆け回り遊んだ。これに終わらず、これを機会に東北に目を向け、心を向け足を向けたと思う。

研修に連れて行ってくださり有り難うございました。わんこそばも美味しかったです。

M・K 記

### 美しい財産を守っていきたい

地震で被災した人たちの為に何が出来るのだろうか。と思っていたときにこの旅行の話聞き、誘って頂き、自分が少しでも被災地の為に支援出来たことをとても感謝しています。現地では地震の爪痕を直接感じることはありませんでしたが、田んぼや畑川などのある綺麗な景色や、歴史に触れ、この美しい日本の財産を守っていきたくと思いました。

R・A 記

### 貴重な体験が

今回は旅行にご一緒させて頂き有り難うございました。中尊寺ではガイドの方のお話や仏像など、普段はなかなか触れることの出来ない歴史に触れることが出来ました。

2日目の小岩井農場では自然の中で体を使っての遊びが、私は普段外で体を動かす事がないので気持ちよかったです。2日でとても貴重な体験ができました。お世話になりました。

A・G 記

### 印象的だった賢治

中尊寺は、時間が早くてもっとゆっくり見学してみたいと思い、今度は自分で行ってみたいと思う。

1番印象的だったのは、宮沢賢治だった。様々なことに興味を持ち、研究したり、感じたことを自分なりに、絵や詞、文にあらわす、表現するすばらしさを感じた。それは、何にでも通じていて、スポーツであったり、食べることであったり様々なことに挑戦することだとも思う。宝石を言葉にたとえたり…。表現は色々あって本当におもしろいなあと思う。私も、絵や物づくりが好きなので(たくさん刺激を受けて)自分の感情で何か表現していきたくと思った。

M・Y 記

## 勉強になった研修

20年ぶりに中尊寺・小岩井農場に行く。いろいろな意味できれいになり整備され変わっていた。

新幹線の中からだけでは、なかなか被災された様子は分からないが、福島では屋根の瓦が落ちてブルーシートがかけられたり、仙台駅ホームの修理跡などは大変だった事が伺えた。古川駅に止まったときは、心苦しかった。震災後、メールのやりとりが増えた。古川や仙台の友達に「何か送ろうか？」と言っても「何とかなるからいらぬ」と言われれば、言葉で応援することしか出来ない。やっぱり、帰りにひとり途中下車すれば良かったと後悔している。

宮沢賢治は、改めて偉大な人であったことに気づいた。知らなかった童話もあり、また読んでみたい。賢治の世界観は童話だけでなく、知識の広いことから、チェロが弾けたり仏教にまで関心があり、天文や農業まで…。やはり天災である。「雨ニモ負ケズ」が死後に判った作品だったことなど勉強になったことも多かった。

中尊寺での発見されたお棺や副葬品などがガイドさんの説明でも勉強になった研修。有り難うございます。

M・H 記

### 編集後記

研修の帰りの新幹線の中で、急遽お願いした研修の感想。とても参考になる。被災地に行かなければ判らないだろうと思っていたこと。被災地が怖いと思っている職員がいたこと。たくさん反省させられた。中尊寺に行くのであれば、前からは是非行きたいと思っていた宮沢賢治関連の施設を訪れる場所に加えた。賢治文学の原点とも成った法華経の原本を観られて良かった。参加した職員が、今回の研修で何かを感じて今後の人生に役立つことを願う。

K・O 記